



中央通りから建物を望む

茅ヶ崎市保健所が新しくなります！

■ 整備の背景と趣旨

現在の保健所庁舎は、保健センター機能を兼ね備えており、母子保健業務やがん検診などの市民サービスをあわせて実施しています。しかし、施設の狭隘さや、老朽化などの課題に直面しています。

近年、地域の公衆衛生対策や新興感染症等の健康危機対応に市民の関心が寄せられるなか、市民のニーズに即したきめ細やかで効果的な事業に取り組むとともに、市民の安全・安心な暮らしを守っていくためにも、より機能的で充実した施設整備を行う必要があります。

■ 計画敷地の概要

新しい保健所・保健センターは、地域医療センター南側の資源物選別処理施設跡地に整備します。JR 茅ヶ崎駅からの高低差が少なく、市役所や市民文化会館といった公共施設に近接し、地域医療センターとの連携も図りやすい立地です。

■ 整備スケジュール

R6 年度に設計を行い、R7 年度に着工、R8 年度に供用を開始する予定です。

■ デザインコンセプト

①人々を導き入れる跳ね出したボリューム

中央通り側に跳ね出した上部のボリュームが来訪者を自然に迎え入れます。

②分節化された立面

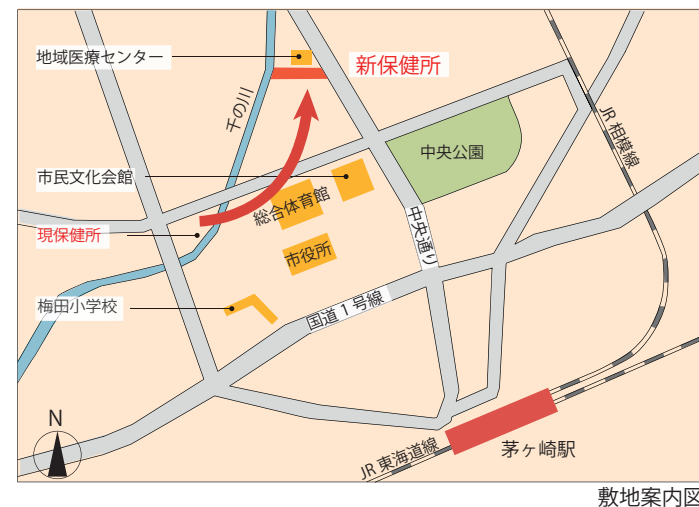
周辺に圧迫感を与えないように分節化したボリューム形状とします。

③上下で表情に変化を持たせた断面構成

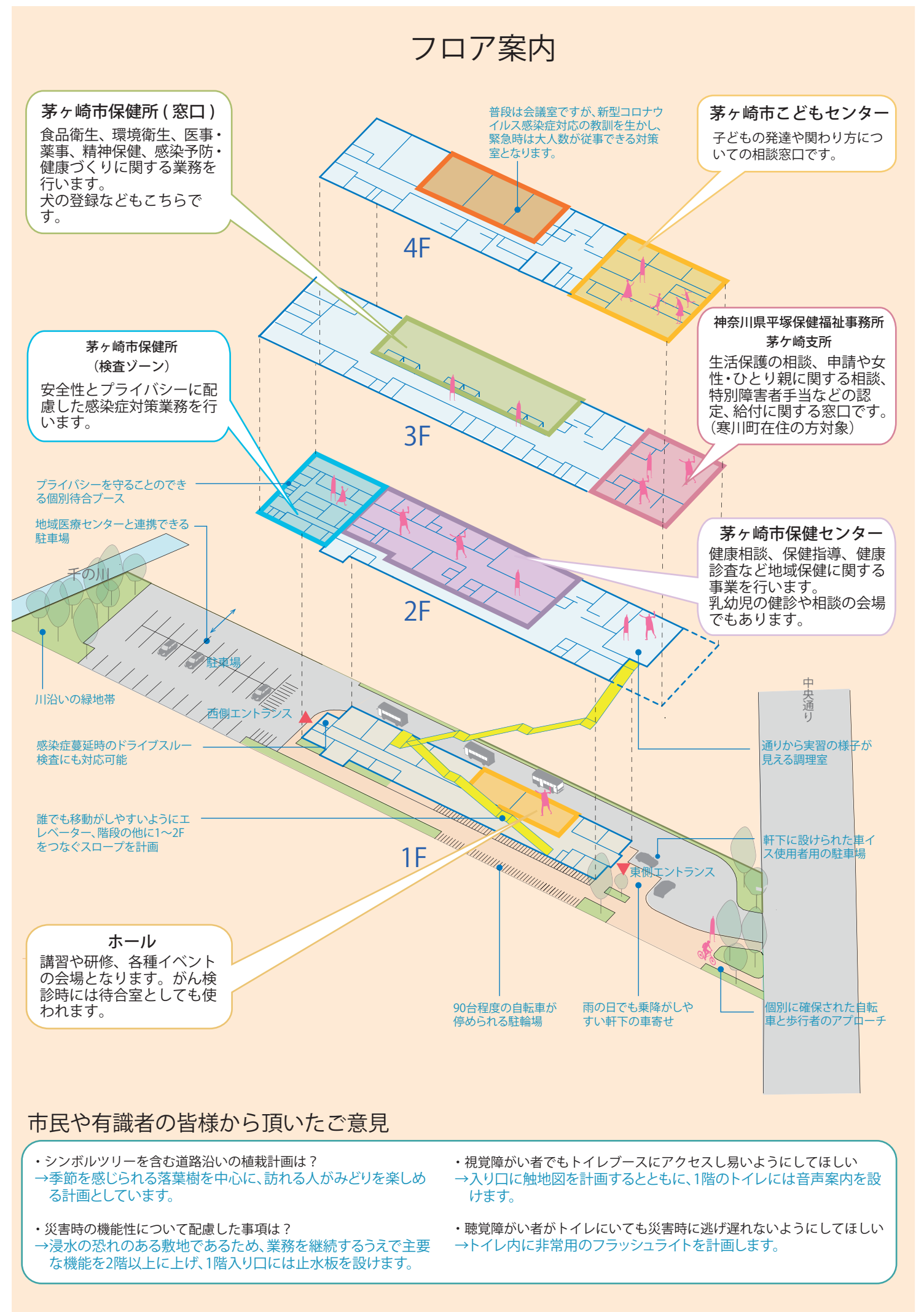
上下で仕上げやボリュームに変化を持たせ、周辺景観との調和をはかります。

④人々の活動が見える建築

施設へ親しみが感じられるように中央通りから内部の活動をうかがえるようにします。



敷地案内図



市民や有識者の皆様から頂いたご意見

・シンボルツリーを含む道路沿いの植栽計画は？
→季節を感じられる落葉樹を中心に、訪れる人がみどりを楽しめる計画としています。

・災害時の機能性について配慮した事項は？
→浸水の恐れのある敷地であるため、業務を継続するうえで主要な機能を2階以上に上げ、1階入り口には止水板を設けます。

・視覚障がい者でもトイレブースにアクセスし易いようにしてほしい
→入り口に触地図を計画するとともに、1階のトイレには音声案内を設けます。

・聴覚障がい者がトイレにいても災害時に逃げ遅れないようにしてほしい
→トイレ内に非常用のフラッシュライトを計画します。